



発行元 公益社団法人 西原町シルバー人材センター
 発刊 2019 年（平成 31 年）3 月
 〒903-0111 沖縄県中頭郡西原町字与那城 135 番地
 TEL(098)944-1699 FAX(098)944-1835
 e-mail nishihara@sjc.ne.jp
 U R L : <http://www.town.nishihara.okinawa.ja/nishihara-town-silvercenter/index.html>

シルバーだより 第19号

～ ボランティア活動で「花いっぱい運動」 ～

『高齢者にやさしい安らぎのある豊かなまちづくり事業』
 ～「平成30年度 西原町まちづくり推進協議会補助金交付事業」活用～



シルバー人材センター

基

本

理

念

- 自主・・・自分のものとして考え
- 共働・・・一緒になって働き
- 自立・・・自分たちの力で育てる
- 共助・・・お互いに助け合う

『花いっぱい運動』
 関連誌面
 4 面



年頭のご挨拶

会員参画型自己改革の実践を柱に



二〇一九年明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、清々しい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年において、会員の皆様には、シルバー事業の推進にあたり、会員拡大の取組み・普及啓発・就業拡大、そしてボランティア活動への参画など、地域に根差し、地域に密着した事業展開が出来ましたことは、会員お一人ひとりのご協力とご支援の賜であり、この場をかりて感謝を申し上げます。

本年は、昨年に実施致しました、アンケート調査の結果を踏まえ、適正就業ガイドラインを遵守しつつ、事業の適正かつ効果的な運営を図るため、実態を把握し、会員の就業環境の改善等に取組んで参ります。

当該アンケート調査の意見・要望等を踏まえ、シルバー人材センター組織の課題や問題点を精査し、特に安全就業を基本とする、会員の安全確保を最優先すると共に、就業現場における安全保護具の整備強化や会員が必要とする機械器具の総点検などを実施し、就業提供の効率化や就業現場の効果的な配置など、ワンストップサービスセンター機能の強化に取組み、利用者ニーズの迅速化に努めて参ります。

したがって、シルバー人材センターの役割と現状を再認識の下、組織運営の課題や問題点を会員と共に共有し、組織運営の改善に努めて

参りたいと思います。

また、会員と事務局との連携強化の年と位置付け、会員参画型自己改革の実践を柱とした「会員完結型の実践・会員組織の活性化・事務手続等への会員参画・事務局としての役割の明確化」など、シルバー人材センター組織の再構築を図って参ります。

事務局へは「発注者に寄り添うとともに、会員の声は私達センターの宝物として耳を傾け、会員の負託に応え得る就業提供と働きやすい就業環境づくりへの取組みに気概をもって実践するよう」、会員の代表である理事長として、方針を示したところでございます。

平成三十一年は、四月もつて平成が最後となります。

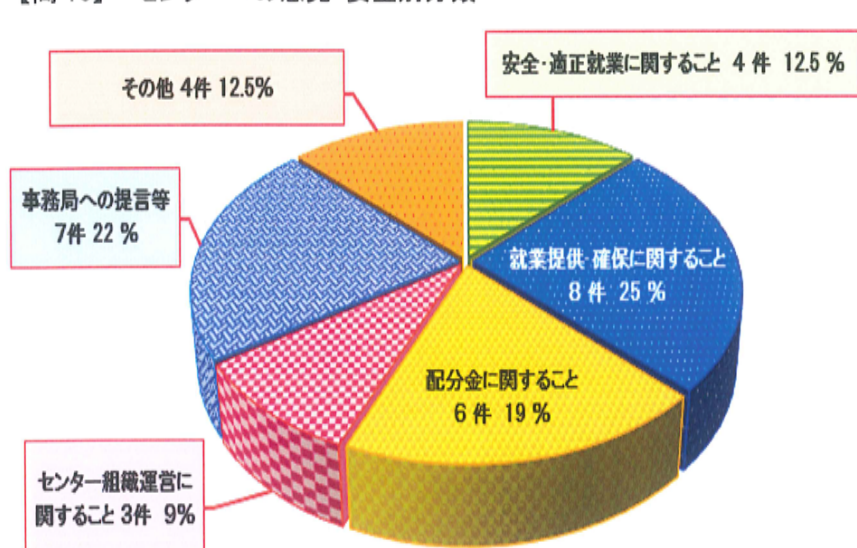
ご承知のとおり、五月、新天皇が即位し、年号が改元を迎えることから、私達は、昭和・平成と言う時代に向き合ってきた。新元号の年を節目に組織活動を見つめ直し、事務局と会員が連携を図り、新たな組織活動の再スタートの年にしたいものです。

二〇一九年は、センター組織への関わり方を役員と会員が連携し、組織の創意で「何かを変えよう・何かが変わる・何かが変わった」と実感できる組織運営に全力で取り組んで参ります。

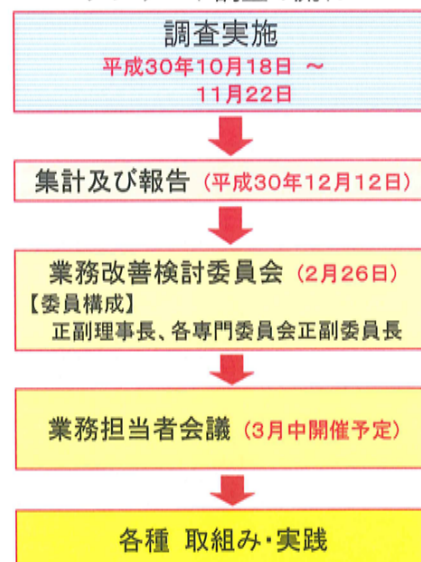
会員皆様には、なお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、迎えました亥年が会員にとりまして、健康で実り多き一年になることを心から願い、益々元気で、明るい就業環境の中、「健康づくり・仲間づくり・生きがいづくり」として、組織活動に参画して頂きたいとお願いを申し上げ、理事長の挨拶と致します。

平成30年度 会員の就業等に関するアンケート調査・集計（報告） ～抜 粋～

【問16】 センターへの意見・要望別分類



アンケート調査の流れ



平成30年度会員の就業等に関するアンケート調査(報告)

『会員の声を就業の場へ 反映に向けて!』

はじめに(概要)

当該アンケートは、「平成30年度会員の就業等に関するアンケート調査実施要領」に基づき、調査期間平成30年10月18日～11月22日に実施いたしました。

調査総数216人の全会員を対象に調査した結果、93人の回答を得、回収率として43.1%であった。当該の調査結果については、実施要領に基づき、センターで組織する業務改善検討委員会等で協議・検討により精査し、センター運営に資するといった目的を果たす為の指標として取扱うものとする。

総括:今後の取組み

本調査については、会員増強及び退会会員抑制の取組みに資するとともに、関係法令及び定款に定める事業の適正かつ効果的な運営を図る為、実態を把握し、会員の就業環境の改善等、今後のセンター事業運営に資することを目的に実施した。

結果、93人の回答を得、回収率として43.1%、前回の調査(平成26年12月実施)より6.7ポイント下回ったが、センターへ32件(回答者全体の32.3%)の意見・要望があり、当該は前回を9.2ポイント上回った。

集計結果、意見・要望を概してみると、会員の就業機会の創出(開拓)、確保及び提供に起因する回答内容、また関連する意見・要望(全体の25%)において、十分な満足が得られていない傾向が伺えた。

本調査においては、安全・適正就業に関する意見・要望も際立ち、就業意欲、安全意識の高い会員からは、関連して事務局への提言も多く発せられた。

中でも什器・備品等の整備・管理、設備が不十分、これに関連し、会員からの就業に関わる提案・要望・相談に、事務局全体で共有し、優先事項の確保(安全器具等)、「高齢運転者等に係るガイドライン」の活用、苦情・相談対応要綱の活用、また必要に応じ、関連諸規程(事案決定区分等)に基づき、丁寧かつ迅速な対応を講じたかなど、即時、現場の声が反映される事務局体制が図られているか等が提起された。

また、法令遵守はもとより、当センターの「適正な運営のための受注基準」に基づき、十分熟慮された受注であつて、安全な就業環境の確保の下、具体的な内容に基づく合意を得て、会員が請負った業務、委任において、事務局職員が如何に関わつたか、仕様書或いは、これに相当する書面等での提示がなされたか懸念が残る意見・要望も散見された。加えて、「適正就業ガイドライン研修」、「シルバー派遣」等の周知が不十分であつた結果から、会員の就業環境における取組みも課題が残った。

会員増強及び退会会員抑制の取組みに資するといった本調査の目的に関わる重要な事案が示された。

中でも、「何故、女性会員が辞めていくか考えた事はあるか」、「仕事も少ないのに会員募集お願いする」ということは、何故か?」とのコメントが上がり、当センターの「会員増強運動要領」に基づく取組みがなされる中であつて、当該の問い掛けは、協力体制に支障となる恐れが否めない事案であつた。

また、双方の問い掛けについては、就業提供のあり方を問う内容であり、センター組織の現状を示唆するもので、自身が、慢性的に就業機会がないと感じている意見と解されるが、当該の意見に止まらない、多くの会員の潜在的な疑問とも捉えられる。特に、女性会員数推移の鈍化・減少傾向については、

従前からの懸案事項であり、就業機会の創出(開拓)、確保・提供が、女性会員の退会抑制の拠り所であると示された。

地域の高齢者がセンターへ入会、更に会員の確保(拡大)は「センターの存続を成し得る根拠」であることから、既存の会員への理解を求めるほかないが、会員の理解を得るには、やはり就業の確保・提供であることが示されている。

したがって、新たな就業機会の創出等、退会抑制を講じた上での会員拡大への取組みが、今後の当センターの組織運営にあたる重要な指針が与えられたものと解され、「会員増強運動」、特に女性会員の拡大については役職員がこれら諸般の実情を踏まえ、共通認識をもつて取組むべきと解される、喫緊な課題が提起された調査結果であつた。

これらの可視化した回答結果、また「意見・要望」を突合した検証と、更に調査回答を得るに至らなかった半数以上の会員の意向も推し量った取組みが求められたものと解されたい。

以上の調査結果から、会員の就業意欲に応え得る、センター事務局体制のあり方が問われたものと総括致します。

今後の取組みとしては、業務改善検討委員会の設置にて精査し協議検討を経て、これらの意見及び指示に基づく業務改善に取組む為、業務担当理事会を開催する。また会議の経過、改善事項等を理事長に報告するとともに、調査結果及び業務改善の状況は、会員並びに理事会へ報告、またホームページ等を活用し、情報公開致します。

以上、「平成30年度会員の就業等に関するアンケート調査」の報告と致します。

『シルバーの日』ボランティア活動で

西原町まちづくり推進協議会補助金交付事業

花いっぱい運動

公益社団法人 西原町シルバー人材センター
TEL.098-944-1699

地域への愛着あふれるシルバー会員



普及啓発促進月間



「すくすくん」(センター製品)堆肥をプランターへ

『シルバーの日』の活動

社会福祉法人 西原町社会福祉協議会
「サポートセンターはばたき」より、花苗(600本)を購入プランター(花苗) 寄贈
平成三十年十一月二日(金)
西原町役場にてプランター(花苗) 寄贈
平成三十年十一月八日(木)
嘉手苅公民館にて

解説

平成三十年度『シルバーの日』(十月第三主曜日)の活動

シルバー人材センター事業普及啓発促進月間の『シルバーの日』の活動に向け、同年七月に申請した平成30年度西原町まちづくり推進協議会補助金交付事業(※解説参照)の交付決定を受け、これを活用し、10月20日(土)にて『花いっぱい運動』を実施しました。

プランター(花苗)は、町民が多く集う主要施設や地域コミュニティ施設(三十二の自治会公民館等へ、一五〇鉢(各施設3鉢×20鉢)を配布いたしました。また当日は、町立図書館、町中央公民館の除草・清掃の実施のほか、センターのチラシ・リーフレットの配布など、会員111人が参加し、当センターの普及啓発活動に取組みました。

平成三十年度

定時総会開催

平成三十年六月六日(水)午後二時、西原町中央公民館において、平成三十年度公益社団法人西原町シルバー人材センター定時総会が開催されました。

会員総数233名に対し、出席者102名、

委任状67名、出席合計169名

以上の出席を得て、公益社団法人西原町シルバー人材センター定款第十八条(定足数)に基づき、定刻、玉那覇満彦副理事長により開会宣言がなされた。

宜志富紹誠会員の司会の下、平良正一理事長より挨拶、引き続き来賓の上間明西原町長、新川喜男議会議長並びに沖縄県シルバー人材センター連合の翁長盛正会長より、ご祝辞、激励を賜りました。

審議に先立ち、崎間達三理事が議長に選出され、以下の審議に移りました。

- (議案第一号) 平成二十九年度事業報告
- (議案第二号) 平成二十九年度収支決算
- (議案第三号) 理事長に対する権限委任
- (報告第一号) 平成二十九年度補正予算
- (報告第二号) 平成三十年度事業計画
- (報告第三号) 平成三十年度収支予算

これらの議案について審議の結果、全て原案のとおり、異議なく可決・承認されました。

続いて、報告第一号から第三号まで報告がなされ、特に平成三十年度事業計画については、基本方針並びに数値目標を掲げ取組む旨、また、当該の事業計画に基づく平成三十年度収支予算に係る理事会決議について説明が行われました。

最後に崎原盛隆理事の閉会宣言で平成三十年度定時総会を終了しました。



総会
司会
宜志富紹誠



議案審議
会場の会員



理事長
挨拶
平良正一

議長
崎間達三



第2部「懇親会」も賑やかに！



前浜(舞踊)
宮城貞一 会員

平成30年度 第25回
原町シルバー人材センター定時総会

表彰状贈呈

特別表彰

翁長 正吉
与那城 武旭

会員表彰

栄野川 政順
安里 昌栄
川満 英一
玉那覇 信助
与儀 正雄
喜屋 武友盛



乾杯の音頭
翁長正吉



第13回安全・適正就業推進大会

安全は全てに優先する！

当センターは、「シルバー人材センター事業安全・適正就業強化月間（七月）において、平成三十年七月十三日（金）、「第十三回 安全・適正就業推進大会」を開催しました。

当日は会員一三人出席の下、太田守昭安全・適正就業委員会委員長の開会挨拶が始まり、平良正一理事長挨拶、来賓として上間明西原町長ご名代の小橋川明副町長より激励の挨拶がありました。

続いて太田守昭安全委員長より、平成三十年度「安全・適正就業推進実施計画」の詳細な説明がなされたほか、過去二年間の「事故発生状況」の報告がありました。また、「安全標語入選者表彰」に移り、同標語については今年度応募において、五十三点の作品の中から厳正な審査の結果、三点の作品を決定し、下記のとおり入選者（三名）の発表並びに表彰が行われました。



経験発表
野口節子 会員（右）
城間進 会員（左）



安全標語入選作品

（応募総数53点）

最優秀賞

慣れた仕事も 初心忘れず 安全点検

嘉手納良三

優秀賞

今日も無事故 明日へ繋ごう 安全就業

太田守昭

佳作

安全就業で いつも笑顔の 明るい職場

神谷嘉宗

佳作

安全確認 一人の目より二人の目

万里崎英広

次の日程、会員の意見発表として、野口節子会員、城間進会員より、自らの体験を例に挙げ、日常の就業に関して感じた事などニューモアを交えた貴重な意見の発表がありました。

続いて、川満英一安全・適正就業推進委員より「安全宣言」として全会員総意の下、事故ゼロを目指し、安全心得十カ条の遵守など、安全就業の徹底を宣言しました。

引き続き、西原町役場・健康支援課、保健予防係の赤嶺郁恵係長より、「熱中症予防について」を演題に、資料を提示の下、熱中症を引き起こす環境・行動や、その予防・対策について講演され、高齢者の健康管理など会員自らが実践できる有意義な講義により、今後の安全就業に資することが出来ました。

最後に、中山繁安全・適正就業委員会副委員長より、本日決議された「安全就業の徹底」について、協力を願う大会を終了いたしました。

安全・適正就業指導員

今期、『安全・適正就業指導員証』交付
平成三十年七月十三日（九名）



中山 繁



崎間達三



渡慶次柴良



石川清勝



新城 清



田野口正二郎



玉城純男



崎原盛隆



太田守昭



写真で見る 西原町シルバー人材センターの活動風景

8月

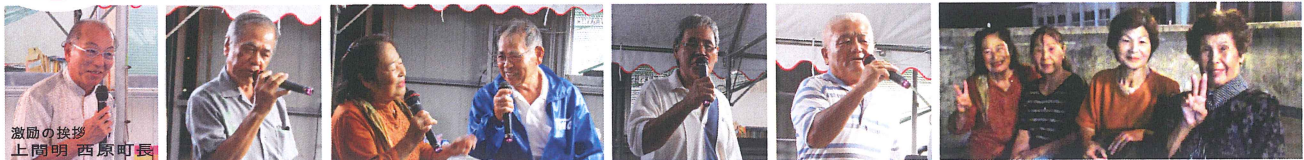
平成30年度公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会定時総会決議に係る要請行動



平成30年8月3日(金)、全国シルバー人材センター事業協会定時総会決議に係る要請行動を実施しました。決議内容は『「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望』とし、会員増加の取組み強化や人手不足分野等の労働力確保など地域社会発展への貢献、実現に向けたセンターの役割を果たす旨の決意を示しました。要望としては、シルバー事業の推進の為に必要な補助金等の確保、公共からの事業発注の確保など、会員の就業機会を引き続きご支援・ご協力願いたい旨、要請しました。

9月

『平成30年 観月会』80名の参加で賑わう！ 平成30年9月21日(金) 当シルバー人材センター 18:00~開催



11月

平成30年度『視察研修』(中・北部巡り)/会員、役職員51名参加で楽しい一日に！ 平成30年11月17日(土)



1月

『第11回 理事長杯グラウンドゴルフ大会』 平成31年1月26日(土)東崎公園 /総勢83人で競う！



優勝 仲里朝弘
準優勝 島袋政幸
三位 樋口敏彦

※ 34の各賞品が、理事長並びに同好会会長より贈呈されました。

平成30年度 公益社団法人 西原町シルバー人材センター
「特定公益増進法人に係る寄付金」募集活動

寄付金 寄付者一覧(順不同・敬称略)	
事業所等名	事業所等名
新中糖産業(株)	金秀鋼材(株)
友寄オートサービス	(株)屋我商会
(有)丸伊産業	(有)ナカヨシ建機
(株)長嶺商会	小波津砂販売所
(株)オキセイ産業	

地域から多くの賛同を得る為、町内企業等を訪問し、シルバー事業の公共性・公益性のPR、また寄付金募集の趣旨説明の下、寄付金募集活動を行いました。

寄付金総額 157,000 円 (9事業所)

会員の就業意欲に応え得る事務局体制の機能強化に努めて参りますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。



いれい なおき
伊礼 直樹

新事務局長就任

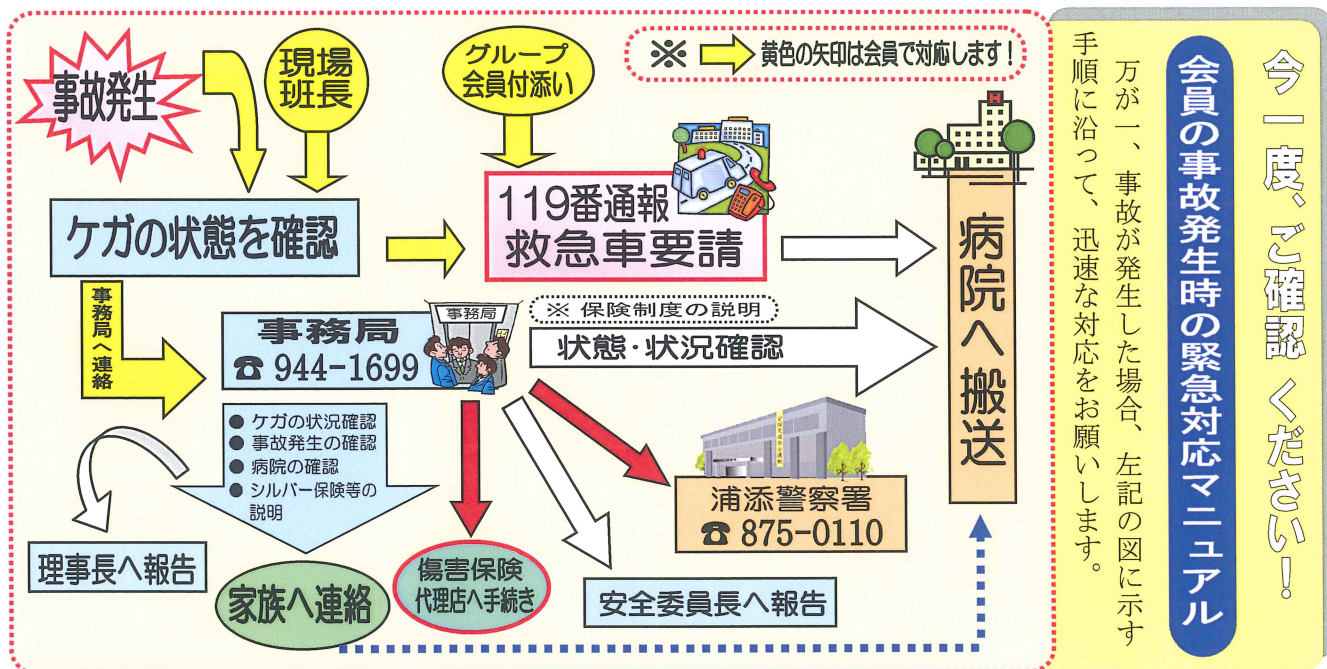
事務局だより

新たに就業機会創出員を配置



しまぶくろまさゆき よなし おさむ みやぎ おさむ
左から島袋 政幸 與那城 修 宮城 修

就業機会創出員は、就業開拓を始め発注先へ出向き、現場確認や見積り等、会員の就業確保に取り組んでいます。



二〇一九年の干支は、十二支最後の亥年です。▼亥(い)年は季節でいうと冬にたとえられ種が芽に備えてエネルギーを貯める時期といった意味を持つそうです。▼一方、本年は新元号に改元される年でもあります。▼気持ちも新たに会員の活動を多く誌面に反映できるように努めますので、皆様の投稿のご協力をお願いいたします。▼投稿例(○)自身の話題・短歌・絵画等の趣味の作品、等々

編集後記

シルバー会員になるには
◆西原町に居住する健康で働く意欲のある原則60歳以上の方。(女性会員大募集！)
◆入会説明会を受けた方。
※入会説明会は毎月第四金曜日 午後2時、当センターにて開催しています。
◆お問合せ(※お気軽にお問合せ下さい。)
公益社団法人 西原町シルバー人材センター
☎ 944・1699
「西原町のホームページ」にて検索が可能です。
是非、ご覧ください。

会員大募集

※詳しくはセンターにお問合わせ下さい。
●カラオケ同好会(毎月第一・三土曜開催)
●三線同好会(毎月第二・三木曜開催)
●グラウンドゴルフ大会(毎月第四土曜開催)
●囲碁大会(三カ月毎 第二土曜開催)

町内にお住まいの健康な高齢者の方ならどなたでも！
まずはシルバーの仲間と集い交流しませんか？